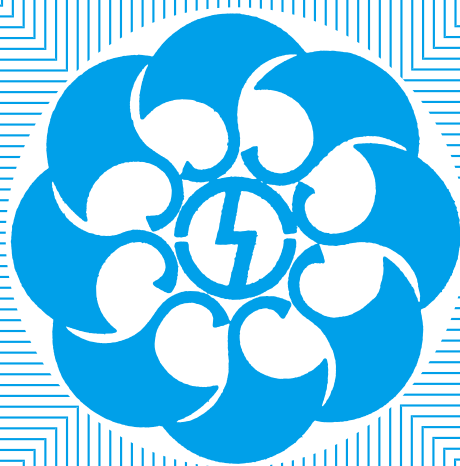


会 報



一般社団法人
神奈川県空調衛生工業会

第135号

〔日本大通り 光の演出〕

歴史的な建築物が立ち並ぶ日本大通りでは、イチョウ並木やトナカイのイルミネーションでクリスマスシーズンを演出します。



写真提供：公益財団法人 横浜市建築保全公社 理事長 二宮 智美 氏

横浜港客船フォトコンテストでの特選をはじめ、港区観光フォトコンテスト、DanceDanceDance@YOKOHAMA フォトコンテストなど多数受賞されています。

目 次

(一社)日本空調衛生工事業協会第26回全国会議を沖縄県で開催	1
定例理事会議事報告(令和元年7月・9月・10月・11月)	2
令和元年度研修会開催	研修委員会 3
関東地方整備局による	
「令和元年度入札契約制度・円滑施工確保対策説明会」開催	4
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	安全委員会 4
横浜市建築局主催による震災時即時出動訓練行われる	安全委員会 5
令和元年度インターンシップ受入事業実施報告	研修委員会 6
令和元年度県立藤沢工科高等学校等との連携事業実施報告 ..	研修委員会 8
令和元年度横浜市優良工事表彰式	9
(公財)横浜市建築保全公社 令和元年度優良工事施工者表彰式	9
親睦会報告	10
新会員紹介	11
会員に関わるお知らせ	11
今後の行事予定	11
編集後記	

(一社)日本空調衛生工事業協会 第26回全国会議を沖縄県で開催



令和元年10月23日(水)沖縄県宜野湾市「ラグナガーデンホテル」において、(一社)日本空調衛生工事業協会第26回全国会議が開催され、全国から約370人の会員等が参加しました。

今回は、「空調衛生工事業の独自性の確立～地方の特色を生かし魅力ある業界を目指して～」を基本課題として開催されました。

はじめに、(一社)日空衛 長谷川会長から開会の挨拶があり、「空調衛生工事業は、今後とも最適な設備を責任を持って提供する企業使命の達成を通

じて社会的責任を果たし、積極的な情報発信やPR活動によって、業界のプレゼンスを向上させる。低炭素社会づくりでは、日空衛が長年培ってきた設備技術の経験とノウハウを活用し今後も先導的な役割を果たすこと、また、働き方改革の推進では、建設キャリアアップシステムやBIMの活用などによる生産性の向上、新たな外国人材の受入れなどを進める」と述べられ、改めて、会員に対し日空衛「行動計画」に基づき、長時間労働の是正や週休2日の推進を要請しました。

続いて、来賓として出席した内閣府 沖縄総合事務局の山口浩次長は、「建設従事者の減少、高齢化の傾向が顕在化しており、中長期的な担い手の確保が大きな課題になっているとし、設備機器の試運転調整の期間を見込んだ概成工期の設定や週休2日の推進、施工時期の平準化、予定価格の適正な設定、ICTの積極的な活用などに引き続き取り組んでいく」と挨拶しました。

次に、琉球大学工学部環境建設工学科の堤純一郎教授による「気候変動に対して空調衛生設備が為すべき緩和策と適応策」をテーマに基調講演が行われ、地球温暖化による気温、海水温の上昇が、長期的、短期的にどのような災害を引き起こすかを具体的に提示し、建築設備、特に空調設備の省エネルギー化による気候変動の緩和を訴えました。

基調講演に引き続き、事例報告が2件あり、双峰設備(株)の曾和代表取締役からは「魅力的な建設産業に向けて～担い手確保と新たな人材育成～」をテーマに、これまで取り組んできた出前講座等の地元学校との連携や中途採用の取り組みから見た働き方改革について報告があり、また、沖縄科学技術大学院大学(OIST)の岩澤博士からは沖縄の特色ある施設としてOISTが紹介されました。

当工業会からは、有井会長、土谷、築地副会長、川本理事相談役、鈴野専務理事が出席しました。

OISTとは

沖縄の自立的発展と世界の科学技術の向上に寄与することを目的に設立され、世界最高水準の教育研究機関をめざしています。令和元年9月現在、48ヶ国205人の学生がいますが、85%は外国人で公用語は英語です。36万6千㎡の広大な敷地に自然生態系を壊さないように谷を残し、地形に合わせた不思議な形の建物が尾根の上で等高線に合わせて配置され、ブリッジで繋がれています。

自然の中の未来空間、一度行ってみませんか。



住所：沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1 電話：098-966-2184 E-mail visit-us@oist.jp

定例理事会議事報告(7月・9月・10月・11月)

7 月定例理事会

令和元年7月12日(金)午後4時30分から第560回定例理事会が開催され、次の事項が報告され、了承されました。

【報告事項】

1. 会員意識調査 結果について
2. 関東地方整備局による「令和元年度 入札契約制度・円滑施工確保対策説明会」の応募状況について
3. 横浜市工事書類簡素化について

9 月定例理事会

令和元年9月13日(金)午後2時から第561回定例理事会が開催され、次の事項が協議され、原案どおり承認されました。

【協議事項】

1. 正会員入会申し込み(神奈川総合設備株式会社)について
2. 日空衛 第26回「全国会議」について
3. 日空衛 関東支部連絡協議会について

【報告事項】

1. 令和2年度予算要望各党ヒアリングの実施結果について
2. 令和元年度 国・横浜市・保全公社との意見交換会議事録について
3. 令和元年度 入札契約制度・円滑施工確保対策説明会の結果について
4. 令和元年度インターンシップの実施状況について
5. 研修委員会主催「令和元年度研修会」の実施結果について
6. 「令和元年度 安全ポスター」の制作結果報告について
7. 安全委員会主催「令和元年度安全講習会」について
8. 令和元年度神奈川県及び横浜市震災時即時出動訓練の日程について

10月定例理事会

令和元年10月11日(金)午後2時から第562回定例理事会が開催され、次の事項が協議され、原案どおり承認されました。

【協議事項】

1. 中間決算について
2. 12月定例理事会の開催について

【報告事項】

1. 令和元年度研修会(経営幹部)について
2. 令和元年度技術研修見学会の実施について
3. 令和元年度横浜市災害時即時出動訓練の実施結果について
4. 令和2年度安全スローガンの募集等について

11月定例理事会

令和元年11月8日(金)午後2時から第563回定例理事会が開催され、次の事項が協議され、原案どおり承認されました。

【協議事項】

1. 正会員入会申し込み(株式会社マクティム)について
2. 令和2年新年賀詞交換会実施計画(案)について

【報告事項】

1. 賛助会員の入会について
2. 「かながわ建設 in 日本大通り」への参加について
3. 令和元年度研修会(経営幹部)について
4. 会報第135号の発行について
5. 令和元年度「技術研修見学会」について
6. 神奈川県震災対策訓練について
7. 横浜市令和元年度10月補正予算について

令和元年度研修会開催 「災害に備えた会社の対応力アップに向けて」 研修委員会

令和元年度研修会を9月2日(月)午後2時からワークピア横浜において「災害に備えた会社の対応力アップに向けて」をテーマに、防災システム研究所 所長で防災・危機管理アドバイザーの山村武彦氏を講師に迎え行いました。参加者は74名でした。

冒頭のあいさつで有井会長は、自然災害はいつ来るかわからない。いざというとき、家族や社員を守りどう事業を継続していくか、県や横浜市との協定に基づく即時出動をどう履行するか、など具体的に備えることが大切だ、と訴えました。

山村氏からは、これまで現地調査をした京都アニメーション放火事件、昨年の西日本豪雨、北海道胆振東部地震、未曾有の被害をもたらした東日本大震災など、様々な事例を基に災害の現場に遭遇した場合の対処法や、そのための日頃の備えのポイントを解説していただきました。

特に、印象深かったのは阪神・淡路大震災時のコンビニの防犯カメラの映像から、人が大規模災害に遭遇した時、大半の人が「凍り付き症候群」に陥り、何もできない放心状態になるという事実。最も大事なことは、地震の予兆を感じた段階でドアの開放など逃避行動をいち早く取れるよう常に心掛けること、とのアドバイスがありました。

山村氏の講演の中から、特に印象深いアドバイスを紹介します。

◇「安全ゾーン」が身を守る◇

家庭と職場の中に、倒壊する危険がある家具やキャビネットから離れ、天井からの落下物やガラス飛散などの危険が少ない「安全ゾーン」を決めておくことが大切。トイレなど個室はドアが歪み閉じ込められる危険性が高い。

◇「命の笛」を胸に◇

災害現場では、様々な騒音や煙で視覚・聴覚が奪われます。

自身の存在や、周囲に危険を知らせるのに、ナイヤガラ瀑布でも聞こえるという大音量の「ストームホイッスル」とも呼ばれる「命の笛」が役立ちます。

◇火が出た時の優先順位◇

災害時等に火災が発生しても、燃え広がるまでには若干の猶予があります。慌てずに次の行動をしましょう。

- ① 火災を周囲に知らせる
- ② 消火する
- ③ けが人などを救助する
- ④ 逃げる

◇「閉じ込められない訓練」も大事◇

防災訓練では、主に消火や救助訓練をしますが、次の訓練も取り入れましょう。

- 地震、火事など状況別に命を守る訓練
- 火を出さない訓練
- 閉じ込められない訓練



講師 山村 武彦氏 防災システム研究所 所長
防災・危機管理アドバイザー

1964年防災・危機管理のシンクタンク「防災システム研究所」を設立、世界中で発生した災害の現地調査を実施。テレビ解説や講演などを通じ防災意識の啓発に取り組む。企業や自治体の防災アドバイザーを歴任し、災害に強い企業や社会、まちづくりに携わる。実践的防災・危機管理の第一人者。

関東地方整備局による 令和元年度入札契約制度・円滑施工確保対策説明会

国土交通省関東地方整備局による「令和元年度入札契約制度・円滑施工確保対策説明会」が令和元年7月24日(水)午後2時から神奈川県電業会館 講堂において開催されました。

この説明会は、情報の共有化と円滑な事業運営の推進を図るため、毎年、当工業会と一般社団法人 神奈川県電業協会とで共同開催しているもので、今回は、当工業会から17名、電業協会から18名の合わせて35名が受講しました。

講演は、関東地方整備局 営繕部 清水克紀官庁施設管理官らが、「営繕工事の働き方改革や円滑な施工確保に向けた各種取り組みについて」、「整備局発注工事に地元企業がより多く参加できるよう競争参加資格申請書作成時の留意事項について」など実務的な説明が行われました。

また、説明会後に関東地方整備局、神奈川県電業協会及び当工業会の3者による意見交換会が実施され、働き方改革への取組みなどについて話し合われました。意見交換会の内容については、各会員宛てに議事録を送付しておりますので参照ください。



フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 安全委員会



皆さん、高所での作業でヒヤッ！としたことはありませんか。

建設業界で労働災害事故による負傷者数のうち40%近くは墜落、転落事故だそうです。

高所での作業時に使用している『安全帯』の名称も本年2月1日より『墜落制止用器具』に変更されました。国際的には墜落制止用の保護具として、従来より日本で使用されている胴ベルト型のものは認めておらず、フルハーネス型のみが規格化されているそうです。

これは胴ベルト型の場合、胸部・腹部などへの圧迫が大きくなる可能性があり救助に時間がかかる作業環境ではフルハーネス型を使用する事が有効だと考えられているからです。

そこで安全委員会では、9月17日に『フルハーネス型墜落制止用器具特別教育』を（一社）東京技能者協会横浜研修所にて37名の受講者を対象に開催いたしました。

講習会では、墜落制止用器具に関する知識、労働災害の防止に関する知識、関係法令などの座学、そして実技教育として参加者全員が実際にフルハーネス型の器具を身に着け、宙吊り状態の体験をしました。実務に則した内容で、高所作業での業務に大変役立つ講習であり、フルハーネス型器具の使用の必要性を感じた講習会となりました。

来年度も会員各社の為になるような講習会を企画したいと考えておりますので、ぜひご参加いただければと思います。



横浜市建築局主催による震災時即時出動訓練行われる 安全委員会



横浜市庁舎における訓練

令和元年9月25日(水)に「横浜市公共建築物に係わる震災時の応急措置の協力に関する協定」に基づき、災害時の迅速な防災拠点の確保に向けた即時出動訓練が、横浜市と出動協定をしている建設6団体の横浜建設業協会、神奈川県建設業協会横浜支部、横浜市電設協会、神奈川県電業協会、神奈川県中小建設業協会横浜支部、当神奈川県空調衛生工業会の即時出動者会員、バックアップ会員331名が出動し、特に震災時の重要な拠点となり、中心的な役割を果たす市庁舎をはじめ区庁舎、消防署、病院等で実施されました。

横浜市指定の51施設（38班）のうち、今回は49施設（37班）が訓練の対象となり、当工業会からは即時出動会員41名（21社）とバックアップ会員48名（37社）の合計89名（58社）〔※一部、即時、バックアップの重複あり〕が訓練に参加しました。

当日は、出動者の参集確認後、施設管理者から設備の故障、漏水などを想定した被害状況が報告され、各所で安全点検、安全措置などの訓練を実施しました。

訓練は、各出動者の協力のもと滞りなく終了しました。本番さながらの訓練は、今後想定される大震災時に生かされるものと思います。

今回の「横浜市震災時即時出動訓練」に参加し、ご協力をいただいた会員会社

◎即時出動会員（21社）

(株)朝日工業社、エルゴテック(株)、(株)金子工業所、川本工業(株)、共栄産業(株)、(株)京浜設備工業所、興信工業(株)、(株)光電社、興和工業(株)、相模設備工業(株)、三機工業(株)、(株)城口研究所、新菱冷熱工業(株)、大成温調(株)、ダイダン(株)、高砂熱学工業(株)、東洋熱工業(株)、(株)西原衛生工業所、日宝工業(株)、三沢電機(株)、(株)ヤマト

◎バックアップ会員（37社）

アクアテック(株)、(株)アクトエンジニアリング、(株)朝日工業社、アトム冷熱工業(株)、カナレイ(株)、(株)金子工業所、川本工業(株)、(株)清田工業、(株)ケイ・ワイ、(株)康栄社、興和工業(株)、(株)小松工業、三建設備工業(株)、(株)三冷社、神中工業(株)、新日本空調(株)、須賀工業(株)、清進電設(株)、第一工業(株)、第一設備工業(株)、大成温調(株)、大成設備(株)、ダイダン(株)、(株)タイレイクリエーション、(株)司工事、(株)テクノ菱和、東洋熱工業(株)、(株)日設、(株)ニッセツ、万里設備(株)、日比谷総合設備(株)、(株)ヘルツ、豊正工業(株)、三沢電機(株)、南設備工業(株)、(株)ヨコレイ、菱和設備(株)

令和元年度インターンシップ受入事業実施報告 研修委員会

1 概要

当工業会では平成8年度から、産学連携による人材の確保・育成に向けた取り組みの一環として、工業高校の生徒を対象としたインターンシップを実施し、これまでの24年間で、559名の生徒を受入れてきました。

本年度は、神奈川県立藤沢工科高等学校総合技術科住環境系の2学年26名の生徒さんを、夏休み期間に7社の会員企業がそれぞれ3日間受入れました。

2 受入企業の研修内容

研修内容については、各企業の独自性を尊重していますが、概ね (1) 座学、(2) 施設見学等、(3) 実習の3つの内容から構成されています。

- (1) 座学では、受入企業の概要説明や空調・衛生設備の基礎知識、安全指導等を行い、社会人としての心構えなど、仕事以外についても積極的に取入れる企業もありました。
- (2) 施設見学では、現在建築中のビルなどの工事現場見学、製造工程を見る工場見学、空調・衛生設備のショールーム見学など、多様な見学が行われましたが、中でも、施設とそれをつくる過程が学べる工事現場見学が魅力の一つになっていました。
- (3) 実習は、将来技術者を目指す生徒には必須なCAD体験を取入れる企業が多く、そのほかでは、空気圧縮機の分解・組立てや保守点検作業体験などが行われました。

3 第2回研修委員会での検討から

令和元年度のインターンシップのまとめとして、10月8日(火)に研修委員会を開催し、インターンシップ実施上の課題について話し合いを行いました。

インターンシップ実施の課題としては、参加した生徒が工事現場見学到最も興味を示しているのに、今後もカリキュラムの中で体験や見学を増やす努力が必要だとの意見に対し、一方で、工事現場見学については、施工者の規制が厳しくなっていることやインターン受入実施期間内（7月後半から8月）に必ずしも適当な現場がないなど、実施が厳しくなっているのに、工事現場見学到に代わる体験型のカリキュラムを考える必要があるなどの意見が示されました。

また、多様なインターンシップの機会を提供するためにも、地元企業や規模の小さな企業でのインターンシップのあり方を検討する必要があるなどの提案がありました。

神奈川県立藤沢工科高等学校（総合技術科 住環境系 2学年）26名

（男子25名、女子1名）

受入会員企業	受入者数	受入期間
川 本 工 業 (株)	4名 (男4)	7月29日～7月31日
高砂熱学工業(株)	4名 (男4)	8月20日～8月22日
三 沢 電 機 (株)	4名 (男3、女1)	7月29日～7月31日
エルゴテック(株)	3名 (男3)	7月30日～8月 1日
(株) 光 電 社	4名 (男4)	8月 6日～8月 8日
新菱冷熱工業(株)	3名 (男3)	7月30日～8月 1日
(株)朝日工業社	4名 (男4)	7月29日～7月31日

【受入会員企業での実習風景】

川本工業(株)



高砂熱学工業(株)



三沢電機(株)



エルゴテック(株)



(株)光電社



新菱冷熱工業(株)



(株)朝日工業社



— 学生さんの感想 —

- 自分の進路に向けて仕事の大変さ、やりがい等の体験ができ意味のある3日間でした。
- 製図を見せてもらい、凄く綺麗で真似したいと思った。
- リニューアル工事によって、また何十年も使える事が素晴らしいと思いました。
- 実際に提案書を書いて説明することで仕事の体験ができて楽しかった。

令和元年度県立藤沢工科高等学校等との連携事業実施報告 研修委員会

事業概要

当工業会では、これまでもインターンシップの受入事業等を通じて、神奈川県立藤沢工科高等学校との連携を図ってまいりました。

一方で、当高校が県内唯一の機械設備系の学科を持つ高校であることから、一層の連携事業を行うことで、若い層に空調衛生工事を幅広く知っていただく機会を増やすとともに、機械設備教育のレベルアップにも協力できるのではないかと考え、昨年10月及び今年2月に研修委員会と高校の間で、今後の連携について意見交換を行いました。

以下では今年度研修委員会が主催しました連携事業について紹介します。

No.	日時	行事内容	視察先等	参加者	協力会員
1	5月24日(金) 9:30~13:00	3学年 社会見学	三機テクノセンター (大和市中央林間)	3学年 35名 教員 4名	三機工業(株)
2	7月12日(金) 13:30~14:30	2学年 施設見学	MM21熱供給(株) (横浜市西区)	2学年 25名 教員 2名	新菱冷熱工業(株)
3	8月21日(水) 14:00~16:30	建設工芸専門部現場 研修見学会	MM21中央地区20街区 MICE施設建築工事現場 (横浜市西区)	教員 10名	エルゴテック(株)
4	8月28日(水) 9:30~17:00	高校教員向け空調衛生 機器実技講習会	明和工業(株)技能実習センター (横浜市鶴見区)	教員 3名	明和工業(株)

説明を受ける生徒



3学年社会見学 三機テクノセンター

昨年10月に大和市にオープンしたテクノセンター、空調、衛生、搬送設備機器などの最新技術を学ぶことができます。

B1にある安全体感エリアでは、現場のあらゆる危険を想定した訓練ができ、彼は今、高層ビルの建築現場の足場の上を体験しています。

バーチャル体験



施設見学会

2学年施設見学 MM21熱供給株式会社

MM21地区には地下配管による巨大な熱供給網が構築されています。地下設備を見学する前に事前説明を受ける生徒たち。

令和元年度横浜市優良工事表彰式



横浜市の令和元年度優良工事表彰式が、令和元年11月5日(火)ワークピア横浜において開催されました。

この表彰式は、横浜市が発注した工事を優秀な成績で施工した施工会社及び現場責任者の方々に対して、その業績を顕彰するために毎年行うものであり、施工会社表彰は今回で40回目、現場責任者表彰は13回目となります。

本年度の優良工事施工会社表彰には、設備部門が13社、建築部門6社、土木・造園部門が34社の合計53社が、また、現場責任者表彰には、設備部門が17名、建築部門が4名、土木・造園部門が41名の合計62名が選ばれ、それぞれ各部門の代表者に林文子市長から、表彰状が手渡されました。

当工業会会員からは、優良工事施工会社表彰で次の4社が、また、優良工事現場責任者表彰で次の4名の方が表彰されました。

優良工事施工会社表彰〔設備部門〕

川本工業株式会社	代表者	川本 守彦
株式会社康栄社	代表者	千葉 敏朗
三機工業株式会社	代表者	長谷川 勉
株式会社司工事	代表者	清田 真弘

優良工事現場責任者表彰〔設備部門〕

木匠 勲	(株式会社康栄社)
清田 修功	(株式会社司工事)
高野 勇人	(三機工業株式会社)
多田 和彦	(川本工業株式会社)

(公財)横浜市建築保全公社 令和元年度優良工事施工者表彰式

(公財)横浜市建築保全公社による令和元年度優良工事施工者表彰式が、令和元年11月15日(金)ロイヤルホールヨコハマにおいて開催されました。

この表彰式は、公共建築物の修繕工事に関わる施工者の技術及び意欲の向上を促すとともに、工事の品質及び安全性の向上を図ることを目的として特に優れた技術により工事を完成させた施工者の方を対象に毎年実施しています。

本年度の受賞者は、建築部門から9社、電気設備部門から6社、機械設備部門から6社が表彰され、当工業会会員からは、次の3社が表彰されました。

【機械設備部門】

興和工業株式会社	代表取締役	小堀 段
株式会社司工事	代表取締役	清田 真弘
株式会社ヨコレイ	代表取締役	有井 清



親 睦 会 報 告

◎令和元年度前期釣大会

渉外委員会主催の釣大会が、令和元年6月21日(金)に金沢漁港「三春丸」において10名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優 勝 小 松 信 幸〔株 小 松 工 業〕 準優勝 福 山 和 弘〔川 本 工 業 株〕

◎令和元年度前期麻雀大会

渉外委員会主催の麻雀大会が、令和元年8月1日(木)に麻雀クラブ「ロン」において12名が参加して行われました。成績は次のとおりです。

優 勝 長谷川 正 志〔大 成 温 調 株〕 準優勝 辻 村 淳 一〔興 信 工 業 株〕

◎令和元年度前期ボウリング大会

渉外委員会主催のボウリング大会が、令和元年9月19日(木)にHamabowLにおいて21名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優 勝 橋 本 夏 希〔株 光 電 社〕 準優勝 島 村 聡〔株 光 電 社〕



釣大会参加者の皆様



麻雀大会優勝 長谷川正志 氏



ボウリング大会優勝 橋本夏希 氏



ボウリング大会参加者の皆様

◎令和元年度後期ゴルフ大会

渉外委員会主催のゴルフ大会が、令和元年10月18日(金)に横浜カントリークラブにおいて32名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優	勝	菊	地	達	郎	〔文	化	興	業	(株)			
準	優	勝	中	野	幸	一	〔東	テ	ク	(株)			
ベ	ス	グ	ロ	賞	池	野	直	規	〔ダ	イ	ダ	ン	(株)



ゴルフ大会優勝 菊地達郎 氏



ゴルフ大会参加者の皆様

新 会 員 紹 介

- | | | |
|--------|------------------------------|---|
| 《正会員》 | ・ 神奈川総合設備株式会社
代表取締役 三澤 励太 | (令和元年9月入会)
〒220-0053 横浜市西区藤棚町1-49
TEL / FAX 045-241-5309 |
| | ・ 株式会社マクティム
代表取締役 田加井 隼人 | (令和元年11月入会)
〒231-0054 横浜市中区黄金町1-5
TEL 045-242-3245 FAX 045-242-3244 |
| 《賛助会員》 | ・ 株式会社オオスミ
代表取締役 大角 武志 | (令和元年11月入会)
〒246-0008 横浜市瀬谷区五貫目町20-17
TEL 045-924-1050 FAX 045-924-1055 |

会員に関わるお知らせ

会員に関わるお知らせにつきましては、工業会ホームページに掲載の「会員名簿」をご参照下さい。

今後の行事予定

- 令和2年新年賀詞交換会
令和2年1月17日(金)午前11時～ ホテルニューグランド
- 技術委員会主催「令和元年度 技術講演会」
令和2年2月17日(月)午後2時～ ワークピア横浜
講演内容：機械設備工事施工マニュアル 部分改訂説明会他

※日程等詳細は、確定次第開催通知をお送りいたします。

SINKO



いまあなたを包む空気、
オーダーメイドです。

いかに求められる空気質を創りだすか、
私たちは創業以来
そのテーマを追求しています。

例えばオフィスでは快適さや、劇場では低騒音が、
病院では高潔度が、美術館では湿度対応が、
建物の形状や機能が異なれば、
必要とされる空気質も異なります。
業務用空調機器のリーディングカンパニーとして
活躍する新晃工業は、
その先進技術で温度、湿度、清浄度、気流を
思うように調和させることで、
空調機器が発する音や振動もコントロールし、
世界中のさまざまな空間で、
より最適な空気質を創りだしています。
いまあなたを包み込む空気も、
きつと私たちのオーダーメイド空気です。

◎新晃工業株式会社
www.sinko.co.jp

本社：大阪市北区南森町1丁目4番5号 〒530-0054 ☎(06)6367-1811
東京本社：東京都中央区日本橋浜町2丁目57番7号 〒103-0007 ☎(03)5640-4159
東京支社：東京都中央区日本橋浜町2丁目57番7号 〒103-0007 ☎(03)5640-4155

azbil
人を中心としたオートメーション

あすみる、
アズビル。

オートメーションで未来を描く

アズビルは、計測・制御技術を駆使して人々が快適な暮らし、
安心して働くことができる環境を100年以上にわたって創り
続けてきました。

これからも、お客さまに寄り添い、お客さまの現場における
価値の創造により、安心して快適な未来の社会を描きます。

アズビル株式会社

ビルシステムカンパニー横浜支店

〒220-8144 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1横浜ランドマークタワー
TEL:045-224-1550 www.azbil.com/jp/

DAIKIN

冬の乾燥に、給水いらずの
うるおい加湿。



“うるるとさらら”は
おかげさまで発売20周年です。



加湿ができるエアコンは
——ダイキンだけ※



うるさらX

2019年11月発売

無給水加湿&加湿水洗浄を搭載した
快適フラッグシップモデル「うるさらX」



うるさらmini

2019年12月発売

無給水加湿でうるおい暖房
寝室などにおすすめ「うるさらmini」

※2019年9月20日現在 家庭用エアコンにおいて、当社独自の無給水加湿技術を採用。

ダイキンHVACソリューション東京株式会社
神奈川営業本部 (045) 225-3871

お客様総合窓口 ダイキンコンタクトセンター

<https://www.daikincc.com>

つくる人に最適を。
くらす未来に快適を。



kanzai 日本管機センター株式会社
 管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材・国内外総合商社

本社：〒104-8401 東京都中央区八丁堀 2-24-3 PMO ビル
 TEL 03(5541)5111(大代表) FAX 03-5541-5115

配送センター：〒136-0082 東京都江東区新木場 3-2-4
 TEL 03(3522)1261(代表) FAX 03-3522-1265



根岸営業本部 〒231-0836 横浜市中区根岸町1-13
 電話(045)623-1991 FAX(045)621-5249

元町事業部 〒231-0861 横浜市中区元町5-216
 電話(045)680-0218 FAX(045)651-1892

株式会社 **横滝**
 住宅設備機器と管工機材総合卸商社

業界初 スマホで楽々点検!

スマホをタッチするだけで、
給水ユニットの運転状態が、
簡単に確認できる!

デザイン一新!!

フレッシャー-LINK
搭載

モデルチェンジ!	フレッシャー 3100 直結給水ブースタポンプ
----------	----------------------------

F3100型 **PNAGM型**

専用アプリ

フレッシャー-LINK
Google Playからアプリをインストール
 ※Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。

スマホをタッチするだけ!

株式会社 **荏原製作所**
 神奈川支店 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 1-9-1
 ☎(045)472-0611 <http://www.ebara.co.jp/>

※「○○○型」の表示は当社の機種記号です。

高効率を追求するテラル
 テラルの新コンセプト「Triple e」による
直結増圧給水ユニット
MC5型

機種選定・水理計算書のご用命は、弊社横浜営業所までお気軽にご相談ください。

省電力 30% 削減!
 (当社比)

軽量 32% ダウン
 最大 60kg 低減
 新 型 MC5-5050-2.2AD 125kg
 従 来 型 MC4-5050-2.2D 185kg

静音 5dB ダウン
 騒音が最大 (当社比)

低振動
 防振ゴムにより
 ポンプ振動を絶縁

【年間消費電力量比較】
 10,340 kWh (現行型 MC4)
 7,176 kWh (新型 MC5)
 30% Down

【計算条件】
 某マンション 総戸数111戸、地上13階建ポンプ口径50A、ポンプ出力7.5kW

テラル株式会社 横浜営業所 〒221-0031 横浜市神奈川区新横浜町1丁目1-25 テクノウェイブ100 10F
 www.teral.net TEL.045-450-5351 FAX.045-450-5352

東京・大阪など全国9支店、47営業所



『全国労働衛生週間』ポスター、工業会安全スローガン入りポスターを正会員に配付しました。(安全委員会)

編集後記

立冬が過ぎて朝夕冷え込みが厳しくなってきました。会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

早いもので今年も残すところあと一か月となり、今年を振り返る時期になりました。

今年は、自国開催のラグビーワールドカップで日本が初の8強入りを果たすなど明るい話題もありましたが、度重なる大型台風の発生により、各地で甚大な被害もありました。被災された方にお見舞い申し上げると共に今後も防災に対する意識を高め、日々災害に対して備えていくことが重要であると改めて感じました。

これからよりいっそう寒い日々が続きますが、会員の皆様におかれましては、くれぐれも体調を崩されませぬようご自愛ください。

(A. I)